



講師

長野県立歴史館特別館長・信州大学名誉教授

## 笹本正治先生

1951年 山梨県生まれ

1975年 名古屋大学大学院

人文科学研究科博士前期課程修了

### <主な著書>

『戦国大名と職人』（吉川弘文館、1988年）・『中世的世界から近世的世界へ―場・音・人をめぐって―』（岩田書院、1993年）・『真継家と近世の鋳物師』（思文閣出版、1996年）・『中世の災害予兆―あの世からのメッセージ―』（吉川弘文館、1996年）・『武田信玄―伝説的英雄像からの脱却―』（中公新書、1997年）・『日本の中世 異郷を結ぶ商人と職人』（中央公論新社、2002年）・『実録 戦国時代の民衆達』（一草舎、2006年）・『武田・上杉・真田氏の合戦』（宮帯出版社、2011年）・『甲信の戦国史―武田氏と山の民の興亡』（ミネルヴァ書房、2016年）など多数

戦国時代は戦国大名に焦点を当てて語られることが多いですが、笹本先生には同時代の岐阜県の歴史にふれながら、略奪、拉致、死の恐怖など一般庶民の視点から戦国時代の実情についてお話しをしていただきます。

◆期日 令和4年5月21日(土)

◆会場 岐阜県図書館 1F 多目的ホール

◆時間 午後2時30分～(受付2時15分～)

(1時15分～2時15分は協会の総会を実施しています)

※参加ご希望の方は、予め岐阜県歴史資料保存協会へお申込みください。定員になり次第締め切ります。

・住所・氏名・連絡先電話番号をお知らせください。

TEL・FAX 058-214-8561

Eメール(岐阜県歴史資料保存協会 HP より可)

・参加の場合は、検温・手指消毒やマスク着用など、感染防止にご協力をお願いします。

岐阜県歴史資料保存協会・岐阜県歴史資料館共催

入場無料

歴史講演会

「戦国時代の実情にせまる」